

当院におけるインターンシップの取り組み ～学生の将来へ向けた支援～

社会医療法人社団さつき会袖ヶ浦さつき台病院 身体リハビリテーション課
武内美佳 板倉大輔 榎本有実 川名千織 君塚果穂 古茶一登 田川紗希 中村友海 藤本孝司

はじめに

当法人には「愛情と感謝の念を持って医療・保健・福祉サービスを提供し、地域に貢献する」という理念がある。その理念の1つにある、地域貢献活動の一環として近隣の高校生に対しインターンシップを受け入れが平成26年にはじまった。その支援内容について以下に報告する。

対象・方法

対象は当院のインターンシップに参加した千葉県内の高校生。内容は当院の紹介、PT・OT・ST(以下、リハ専門職)の仕事内容・体験、病棟見学を実施し、終了時にアンケート調査を実施した。アンケート内容は①当院の理解度、②リハ専門職の理解度をインターン実施前後で100%中何%であるかを主観的に記載し、自由記載も設けた。3年生に関しては後日電話にて進学先の聞き取り調査を行った。



ポスター内容

リハ専門職に興味のある高校生集まれ!!
理学療法士 (PT) ・作業療法士 (OT) ・言語聴覚士 (ST) の職場見学と体験を1日コースで行います。 ※お友達との参加も可能です

<内容一部抜粋>

座学: さつき台病院ってどんな所? POSってどんな仕事?どこで活躍しているの?どうやってなるの?

体験: リハ専門職って病院や地域で何をしているんだろう?
PT: 装具・補助具・リハ機器体験、検査体験など
OT: 机上検査体験、障がい体験による調理練習など
ST: 嚥下食体験、障がい体験、検査・治療体験など

見学: 急性期病棟・回復期リハ病棟・リハビリ室・デイケア
リハビリテーションに関わるすべての病棟

インターンシップとは学生が一定期間企業などの中で研修生として働き自分の将来に関連のある就業体験を行える制度です。

ST体験 嚥下食の試食体験 検査体験

PT体験 リハ機器を体験

医療職に必要な 血圧の測り方を体験

OT体験 高次脳検査を体験

身体を動かすのに必要な 関節可動域の測定体験

開催概要

2・4・6・8・10・12月
第2土曜日 10:00~15:00

<集合>
10:00袖ヶ浦さつき台病院 リハケア棟4階リハビリ室

<申し込み先>
袖ヶ浦さつき台病院 リハビリテーション室
電話番号 0438-38-4416 (月~土 8:30~17:30)
E-Mail rehabilitation@mail.satsuki-kai.or.jp

<申し込み方法>お電話またはメールにて以下の内容をお伝え下さい。
①学校名 ②学年 ③氏名 ④性別
⑤興味のある職種 (PT・OT・ST) ⑥希望日

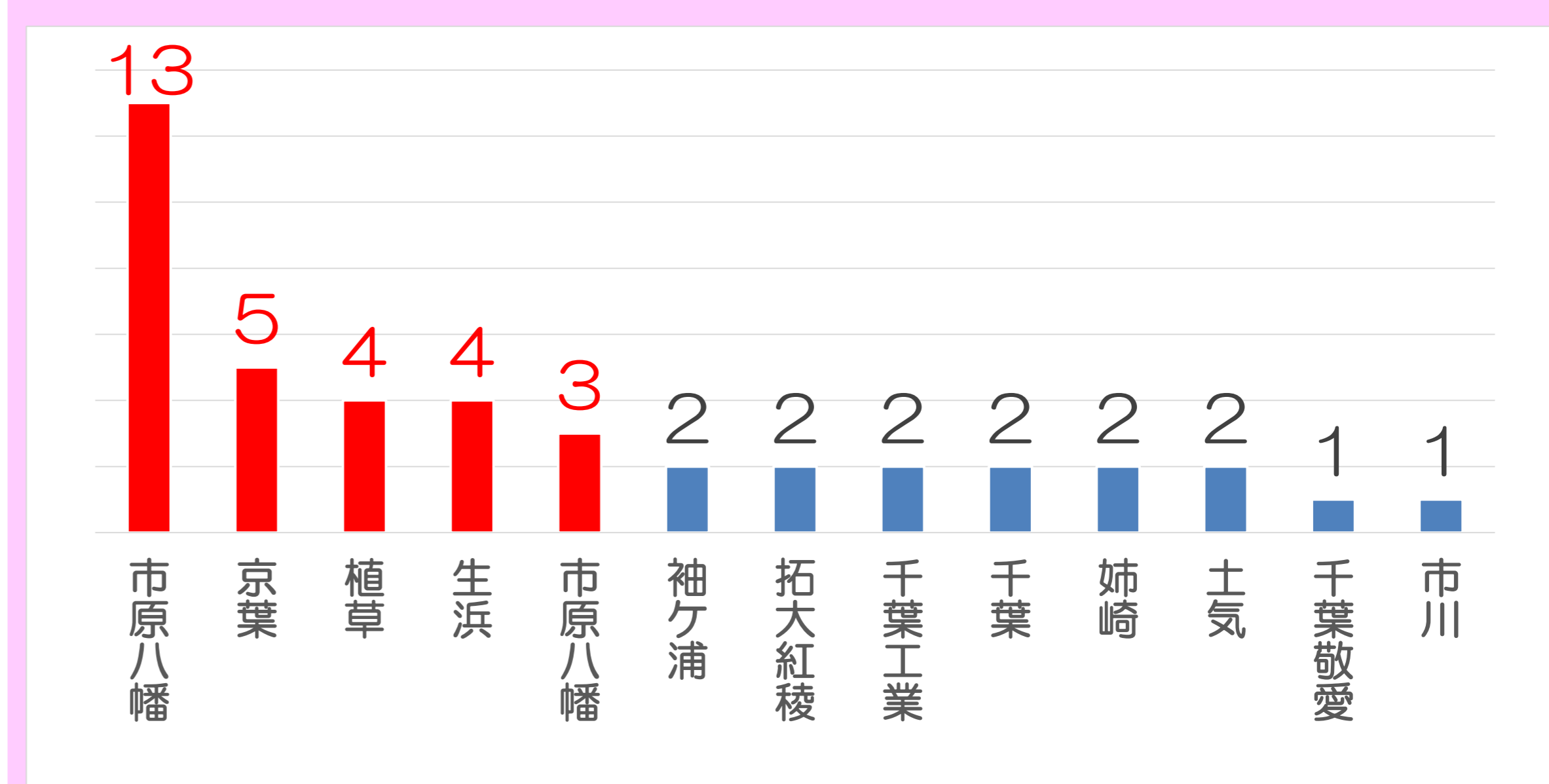
<当日の持ち物>
筆記用具、室内履き、昼食

タイムスケジュール

時間	内容
10:00	さつき台病院リハ室 集合・着替え オリエンテーション ・自己紹介(3分)、同意書記入 ・さつき台病院説明(5分) POSの仕事・なり方⇒今後は各職種体験時間で説明
10:30~10:40	休憩
10:40~11:20	リハ専門職体験: PT(適宜休憩)
11:20~12:00	リハ専門職体験: OT(適宜休憩)
12:00~13:00	昼食
13:00~13:40	リハ専門職体験: ST(適宜休憩)
13:40~14:10	入院・外来病棟見学(適宜休憩)
14:10~14:40	回復期病棟見学(適宜休憩)
14:40~15:00	質問、懇談タイム(順番に着替え) アンケート記入

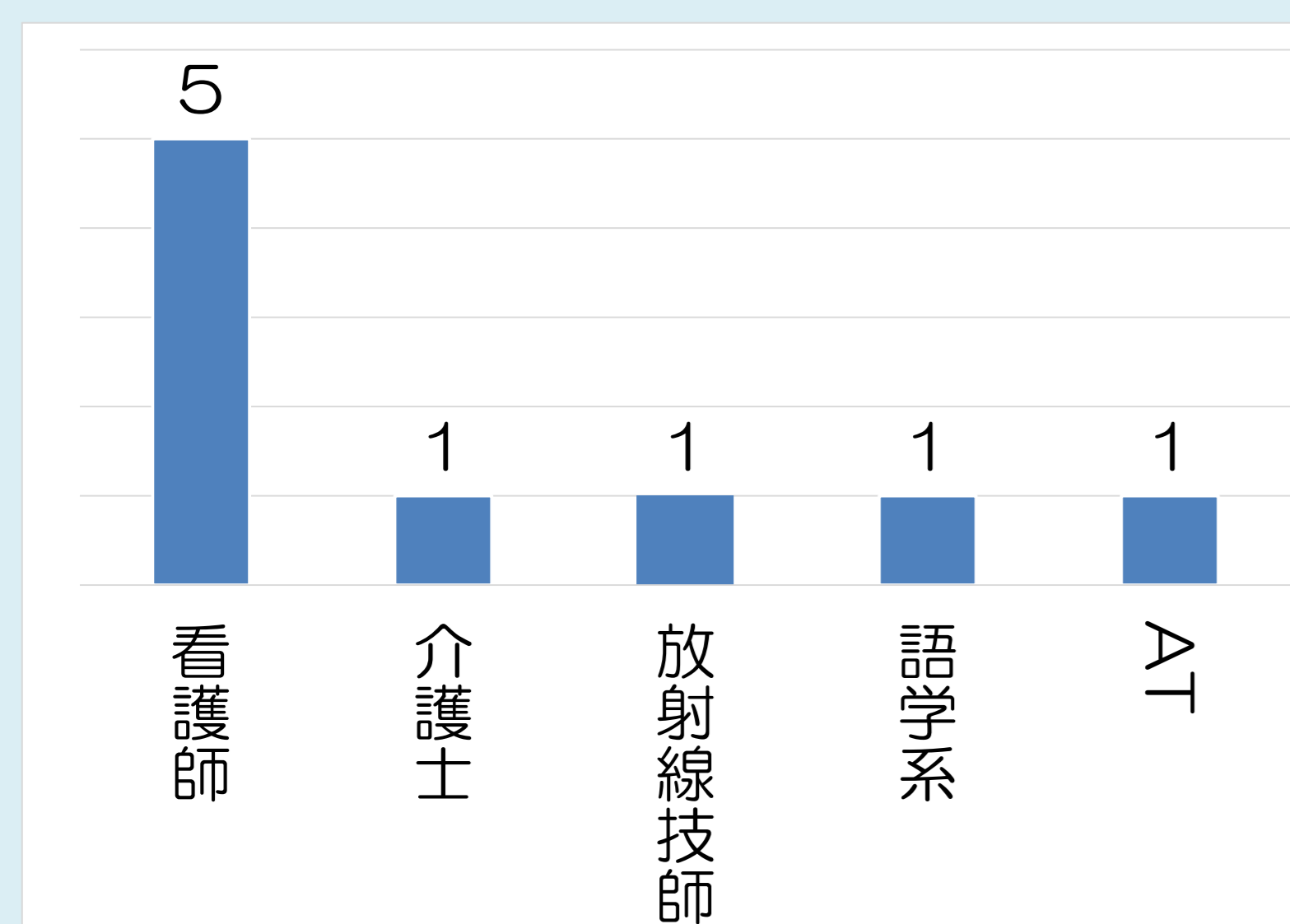
参加者

- 参加者数 44名(平成26年~)
- 学年 高校生3年生 18名 2年生 28名 1年生 4名
- 参加者の所属高校

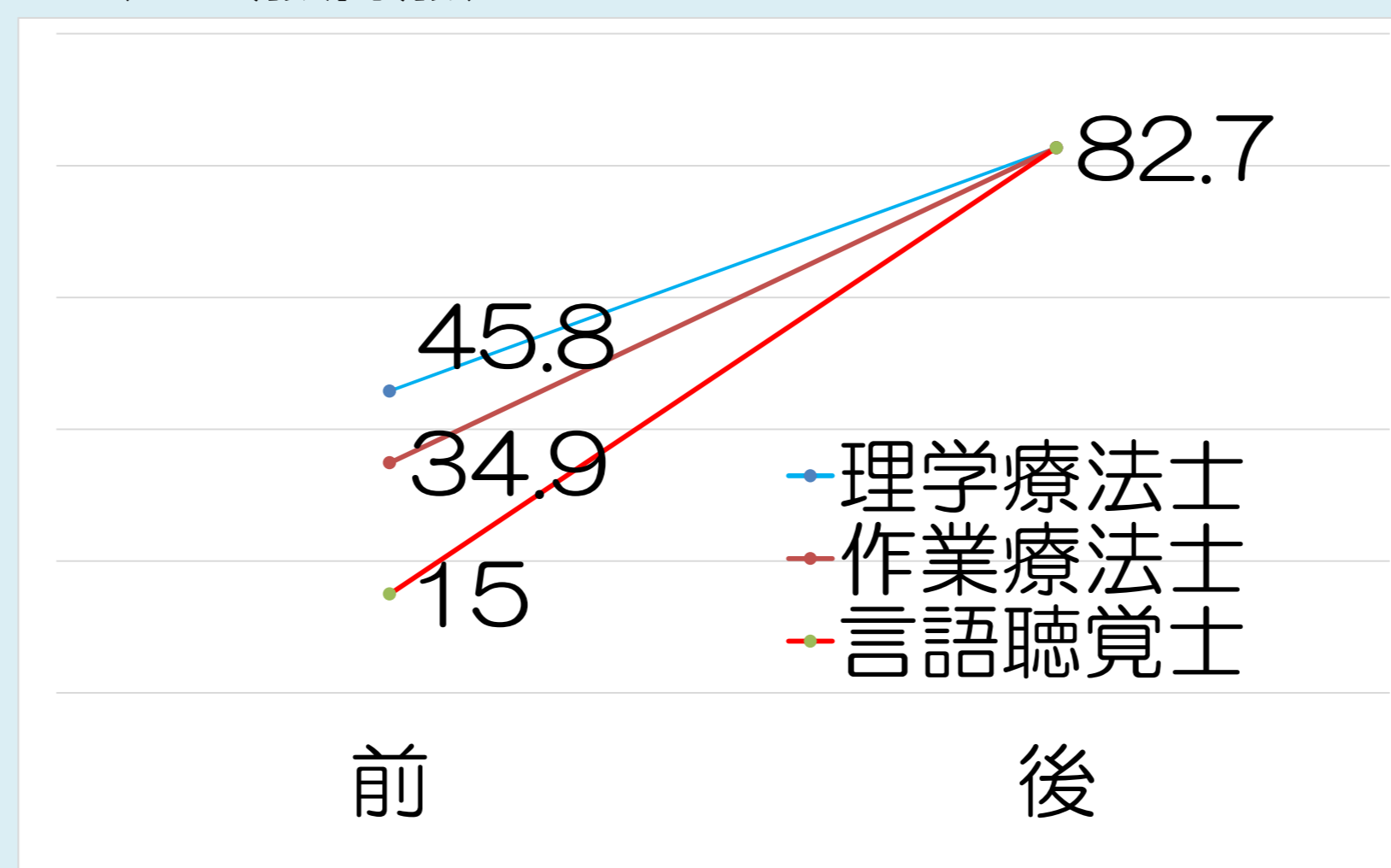


アンケート結果

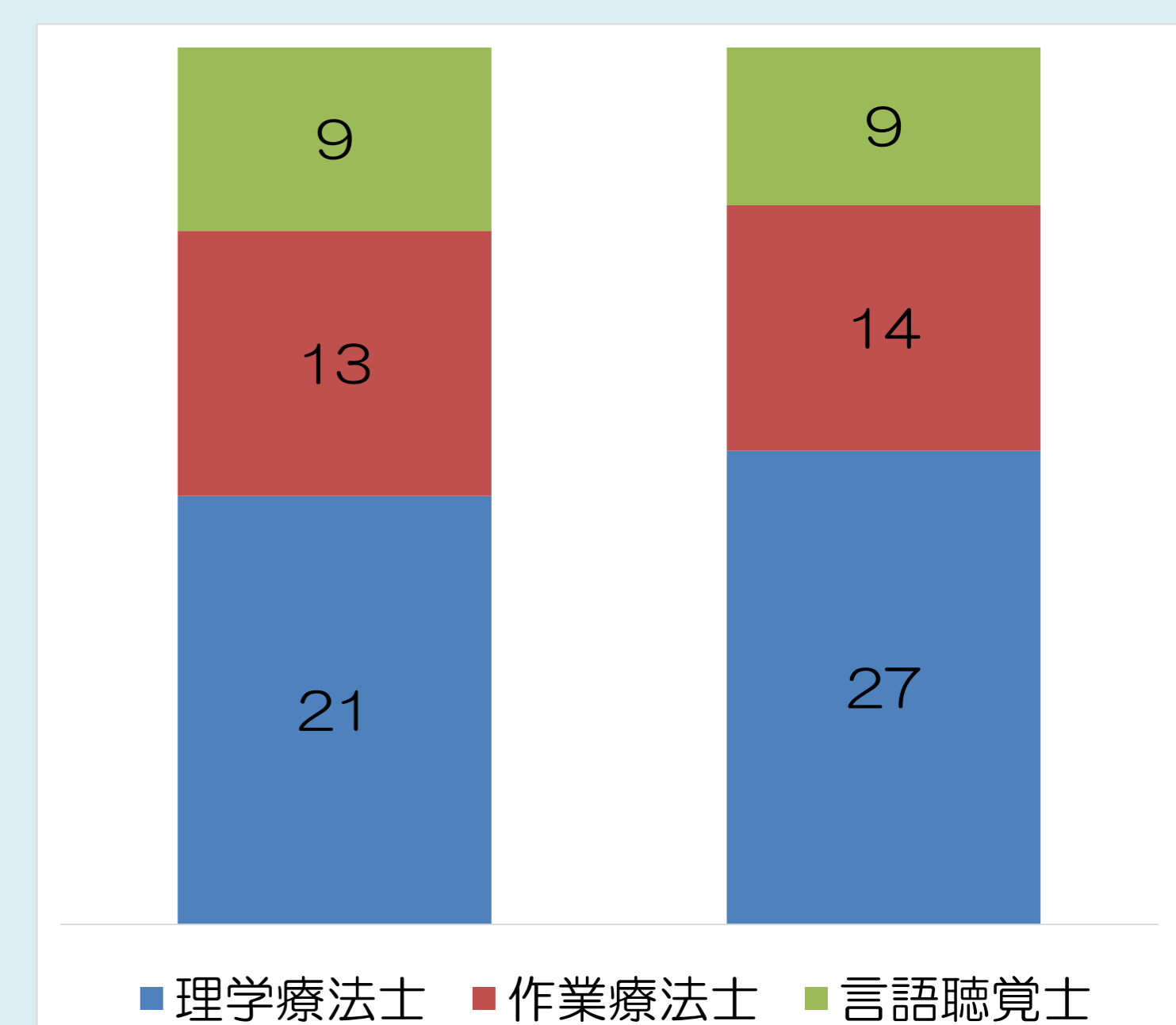
4. リハ職以外にどのような職業に興味がありますか?



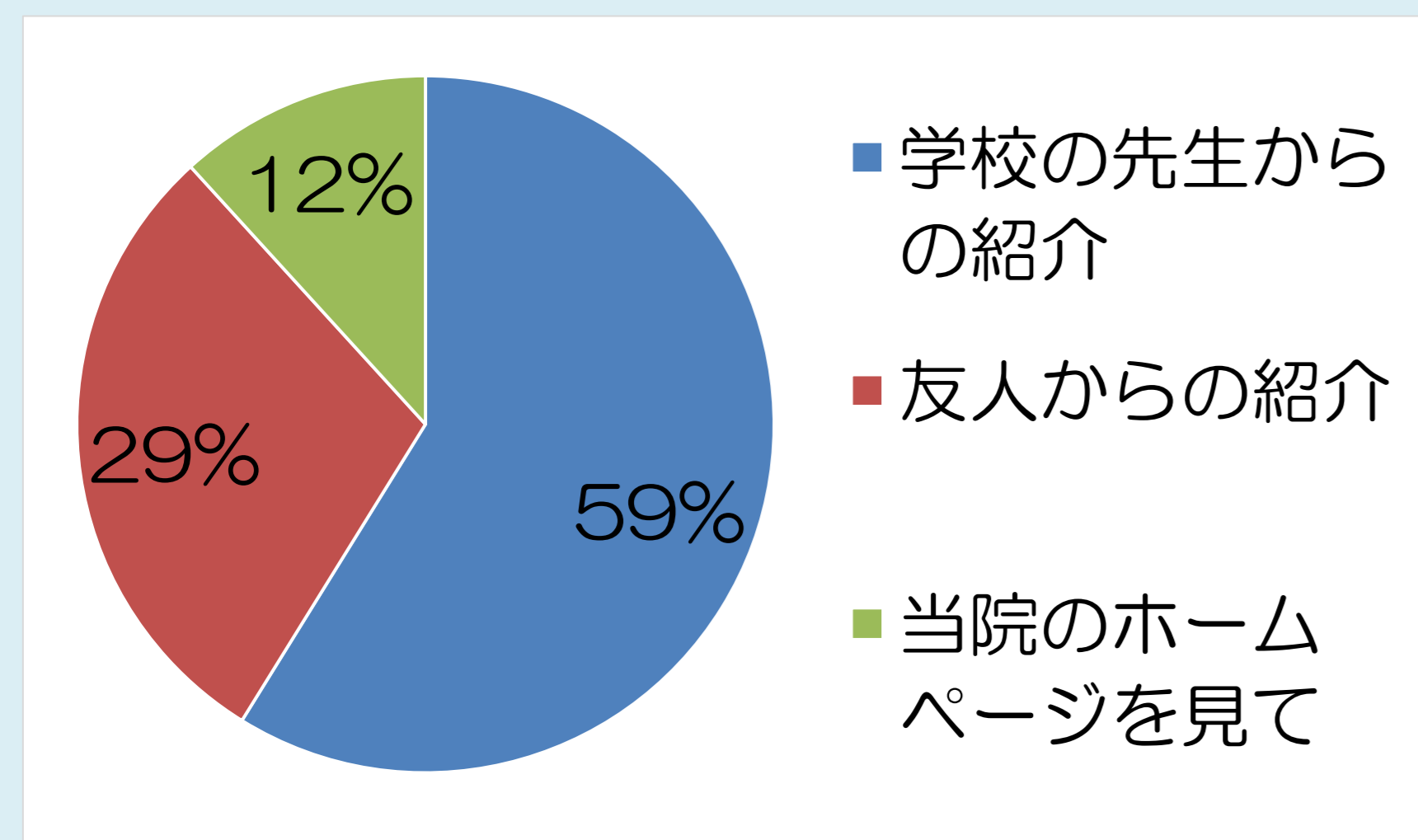
5. 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士がどのような仕事をするのかわかりましたか? (100点満点)



7. インターンシップ参加前後の希望職種



6. 当院のリハ職の「インターンシップ」をどこで知りましたか? (複数回答可)



体験を終えての感想

「今後勉強するのが楽しみになった」
「やりがいがあっていい仕事だなと思った」
「リハビリにより興味がわきました」
「3つの専門職を体験出来て良かったです」
「PT希望で来たけれど他を見て興味がわいた」
「夢の実現の参考になった」
「PTになりたいという思いがより一層強くなりました」

インターンシップ実施前後で、病院で働くPT・OT・STの存在をより身近に感じてもらうことができた。

将来の夢の実現に向けたステップアップと興味関心を深め選択肢を広げられた

まとめ

進路選択の時期に実際に現場を見学・体験し、セラピストと直接話し臨床業務の楽しさを伝えることで、希望職種やその他職業の興味関心にもつながる。また、資格取得までの学業や実習体験談も話すことができ、リハ職(リハ学生)のイメージがより鮮明になり、将来の夢に対して進める準備ややる気につながったと思われる。この取り組みは、大学・専門学校を中途退学や離職率の軽減につながり、学生だけではなく、リハ職となった後にもつながる将来へ向けた支援となるのではないかと考える。